

## (1) (仮称) 枚方市総合文化芸術センターの整備や公共建築物の整備・保全

方向性	<p>平成 32 年度内の完成をめざして(仮称)枚方市総合文化芸術センターの整備に取り組むとともに、公共施設の計画的な整備・保全に取り組みます。</p> <p>～(仮称)枚方市総合文化芸術センターの整備のイメージ～</p> 
取り組み	<p>本市の中心市街地である枚方市駅周辺の再整備の起点となる(仮称)枚方市総合文化芸術センターについては、平成 32 年度内の完成に向け建設工事に着手します。</p> <p>また、新たな児童発達支援センターについては、今年度内の完成をめざし整備を進めるとともに、香里ヶ丘図書館の建替えに着手し、隣接する香里ヶ丘中央公園と一体的に整備を進め平成 31 年度内の完成をめざします。</p> <p>市有建築物の維持保全については、市有建築物保全計画の「第Ⅱ期実施計画」に基づき財政負担の平準化を図りながら、計画的な改修・更新工事を進めます。</p> <p>平成 30 年度当初予算：1,982,700 千円【(仮称)枚方市総合文化芸術センター整備】 3,058,209 千円【公共建築物の整備・保全】</p>


9 月末の  
進捗状況  
【○】

(仮称)枚方市総合文化芸術センターについては、建設工事の着手に向け、工事請負契約に係る手続きを進めています。

また、新たな児童発達支援センターについては、今年度内の完成をめざし建設工事を進めており、香里ヶ丘図書館の建替えについては設計が完了し、今年度中の工事着手に向け、入札手続きを進めています。

市有建築物の維持保全については、大阪北部地震の影響により一部の施設で実施時期や内容の見直しを図りましたが、その他の施設は、当該計画に基づき今年度の予定工事に順次着工するとともに、次年度の工事に向けた設計業務にも着手しています。

## (2) 京阪本線連続立体交差事業と光善寺駅西地区市街地再開発事業

<p><b>目標</b></p>	<p>枚方公園駅付近から香里園駅付近（寝屋川市）までの延長約5.5キロメートル（うち枚方市域約3.4キロメートル）の鉄道高架の完成目標を平成40年度とし、平成31年度から工事に着手できるように事業用地の取得に取り組んでいきます。あわせて、光善寺駅周辺については、光善寺駅西地区市街地再開発準備組合とともに新たなまちづくりを進めます。</p> 
<p><b>取り組み</b></p>	<p>鉄道高架工事の早期着手に向け、計画的かつ効率的に事業用地の取得を進めるとともに、今年度においては側道設計業務委託に着手し、文化財調査等の実施に向けた協議調整を進めます。また、組合設立認可に向けた準備組合の活動に対して、市街地再開発事業の専門的ノウハウを有する事業協力者等とともに技術的支援を行います。</p>
<p>平成30年度当初予算：3,736,605千円【京阪本線連続立体交差事業関連】 85,220千円【連続立体交差事業関連まちづくり事業関連】</p>	

<p><b>9月末の進捗状況【〇】</b></p>	<p>京阪本線連続立体交差事業における今年度の事業用地の取得については、大阪府からの配当額による取得予定面積の86%にあたる約1,740㎡を取得しています。また、側道設計業務を進めるとともに、文化財調査等の実施に向けた協議調整を行っています。</p> <p>光善寺駅西地区市街地再開発事業については、組合設立認可に向けた活動（物件調査や事業計画作成、総会の運営など）に対し事業協力者とともに技術的支援を行ないました。さらに、市街地再開発事業に対する社会資本整備総合交付金の交付決定を行いました。</p>
---------------------------	---

## (3) 定住促進につながる住宅施策の推進

<p><b>方向性</b></p>	<p>まちづくりや地域の活性化、地域の公共的課題の解決のため、空き家・空き地の利用希望者と、その所有者等による活用の促進を図ります。</p>
<p><b>取り組み</b></p>	<p>空き家・空き地の活用について、所有者と公共的課題等の解決に取り組む市民団体とのマッチングを行うとともに、住宅としての流通に向けて不動産に関する団体と協定を締結し、所有者や利用希望者への情報提供や空き家セミナー及び相談会の開催等による支援を行います。</p> <p>また、移住・住みかえ支援機構（JTI）が実施している「マイホーム借上げ制度」の周知・普及を行い、高齢者の持ち家を子育て世代等への賃貸に供給することで、市内転入など定住促進を図るとともに、新たな空き家の発生防止に向け取り組みを進めます。</p> <p>さらに、UR都市機構が行っている団地建替事業による住宅・施設等の建設に伴い、</p>

	子育て世代等呼び込むことができるよう、UR 都市機構や関係機関との協議・調整を進めます。
	《目標値》
	マッチングに向けた空き家所有者に対する個別ヒアリングの実施件数 18 件
	平成 30 年度当初予算：439 千円

<b>9 月末の 進捗状況 【○】</b>	不動産に関する 2 団体と連携協定を締結し、また、空き家に関する相談をテーマとした空き家セミナーを開催しました。マイホーム借上げ制度についても説明会を開催し、周知・普及を図っています。
	さらに、UR 都市機構関連各部署と協議・調整を行い、情報交換や市の要望を伝えており、引き続き団地建替事業に伴う協議・調整を進めます。

<b>(4) 三世代家族・定住促進事業</b>	
<b>方向性</b>	市外在住の子育て世帯及び若年夫婦世帯が、市内在住の親世帯と同居または近居するために住宅を取得またはリフォームすることに対して補助することで、若年世代の転入及び安心して市内定住できる環境整備を図ります。
<b>取り組み</b>	同居または近居するための住宅取得費用や同居のための持ち家のリフォーム費用に対して補助を行います。また、補助金申請者からのアンケート回答を通して得た情報を庁内で共有し、事業効果の検証及び定住促進につながる施策の検討を進めます。
	《目標値》
	平成31年度目標値（平成28年度設定）
	三世代家族・定住促進事業による補助件数（累計）150件
	（実績）平成28年度に8件、平成29年度に 61件で計69件
	（予定）平成30年度に50件（予算1,500万円）予定
	平成 30 年度当初予算：15,000 千円

<b>9 月末の 進捗状況 【○】</b>	予算について 9 月補正を行い、補助件数計 56 件（予算 1680 万円）を予定として補助を進めています。また、補助金申請者からのアンケート回答を集計しており、回答を参考として新たな施策の制度設計を進めます。
-------------------------------	---

<b>(5) 木造住宅の耐震化の促進</b>	
<b>方向性</b>	本市における建築物の耐震化促進を図るために策定した「枚方市住宅・建築物耐震改修促進計画（第Ⅱ期）」に基づき、大地震における木造住宅の被害軽減を図るために木造住宅の耐震化促進を推進します。

<b>取り組み</b>	耐震診断から耐震改修につなげるために、耐震補助制度の周知など多様な普及・啓発の取り組みを行います。また、平成 29 年度から引き続き旧耐震基準により建てられた木造住宅が集積する地区において、重点的に啓発等の取り組みを行います。なお、実行計画における指標の目標値が平成 29 年度に達成したことから、平成 30 年度中に新たな目標値の設定についての検討を行います。	
	《目標値》	
	平成 30 年度 耐震補助予定件数	
	木造住宅耐震診断補助件数	100 件
	木造住宅耐震改修設計補助件数	50 件
	木造住宅耐震改修工事補助件数	60 件
	住宅除却工事補助件数	3 件
平成 30 年度当初予算：58,100 千円		

<b>9 月末の 進捗状況 【〇】</b>	耐震補助制度の普及・啓発に関しては、4 月号・8 月号の広報へ掲載を行い制度の周知を図りました。	
	耐震診断に関しては、大阪北部地震の影響により、当初予定補助件数を大きく上回る状況となりました。	
	平成 30 年度 耐震補助交付決定件数	
	木造住宅耐震診断補助件数	157 件
	木造住宅耐震改修設計補助件数	23 件
	木造住宅耐震改修工事補助件数	19 件
	住宅除却工事補助件数	1 件